



登録理学療法士 更新について

作成者	公益社団法人日本理学療法士協会
作成日	2022年3月23日
最終更新日	2023年9月25日

更新履歴

No.	更新日	更新内容
1	2022/3/23	新規作成
2	2022/6/20	「日本理学療法士協会機関誌を利用した問題解答」について更新しました。
3	2022/10/14	「6.1.1(1)カリキュラムコードに準じた学習での取得」について更新しました。
4	2023/6/30	「4.更新の申請手続」を更新しました。
5	2023/9/25	「6.1.1(1)カリキュラムコードに準じた学習での取得」について、「4.ポイント取得方法」内の「③研修会・講演会・ワークショップ等の受講 ii 士会が承認した会員所属施設の主催のもの」に関するポイント取得日を更新しました。

※本マニュアル内に「QRコード」の記載がありますが、「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

目次

1. 登録理学療法士の更新とは	4
1.1 概要	4
1.2 特徴	4
2. 更新対象者	5
3. 有効期間および活動対象期間	5
4. 更新の申請手続	6
5. 更新要件の概要	7
6. 更新要件の詳細	8
6.1 要件1：ポイントの取得	8
6.1.1 (1) カリキュラムコードに準じた学習での取得	8
6.1.2 (2) 雑誌投稿での取得	11
6.2 要件2：更新時研修の受講	12
6.2.1 要件概要	12
6.2.2 受講方法	12
6.2.3 受講費	12
7. 更新要件取得状況の確認	13
8. カリキュラムコード別のセミナー検索方法	17
9. 更新料	18
10. 更新期間延長手続き	18
11. 認定証の発行	19
12. 更新未完了者への措置	19
【別紙】カリキュラムコード一覧	21

1. 登録理学療法士の更新とは

1.1 概要

- ・理学療法士は、日進月歩の医学、医療を実践するために、生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽する責務を負っています。日本理学療法士協会は理学療法士の自己学習・研修を効果的に行えるよう登録理学療法士取得後も継続的な生涯学習を実施していきます。
- ・本制度は、理学療法士の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して理学療法士が幅広く総合的に研鑽を積んでいる実態、すなわちジェネラリストであることを示し、国民からの信頼を増すことを目的としています。
- ・登録理学療法士は5年ごとの更新制とします。
- ・その一般目標を「頻度の高い疾病と傷害に伴う障害、それらの予防、保健と福祉など、健康と人生にかかわる幅広い問題について、わが国の社会保障体制の中で、適切な対応と必要に応じた連携を全人的視点から提供できる理学療法士としての態度、知識、技能を身につける。」こととします。
- ・行動目標としてカリキュラムコードを作成しました。このカリキュラムコードに則り、生涯学習を進めていきます。

1.2 特徴

- ・生涯学習の土台は「登録理学療法士」を取得し『更新』し続けることであり、継続的に自己学習・研修を行います。
- ・どのような環境（居住地域、多様な働き方・職場環境、ライフイベント等）であっても、「登録理学療法士」を更新し続けることができる仕組みです。
 - 会員としての権利（サービス）を最大限活用
 - 所属施設や地域での学習など『職場・地域基盤型』を軸とした制度
 - オンラインコンテンツの拡充

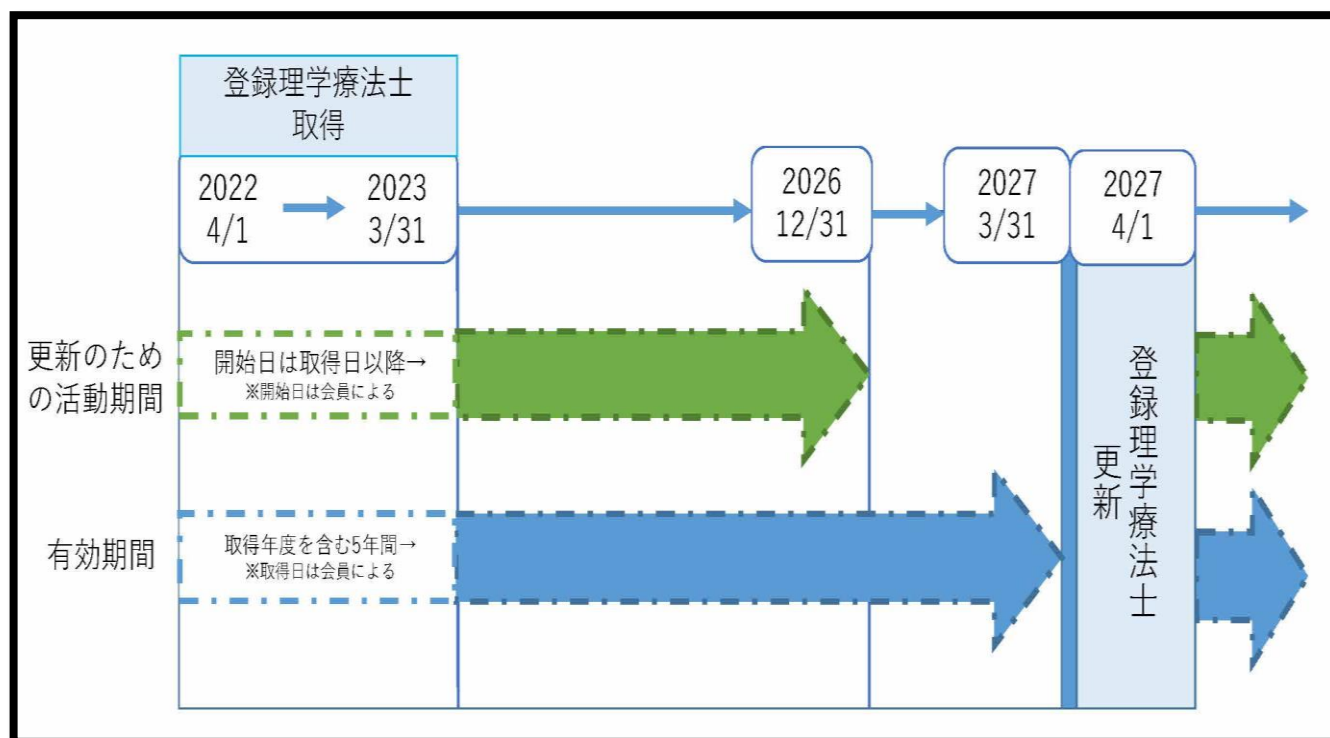
2. 更新対象者

- ・前期研修および後期研修を修了し、登録理学療法士を取得した者。

3. 有効期間および活動対象期間

- ◆登録理学療法士の有効期間：取得年度を含む5年間
- ◆登録理学療法士更新のための活動対象期間：登録理学療法士取得日～最終年度の12月末日まで

例：2022年度内（2022/4/1～2023/3/31）に登録理学療法士を取得した場合



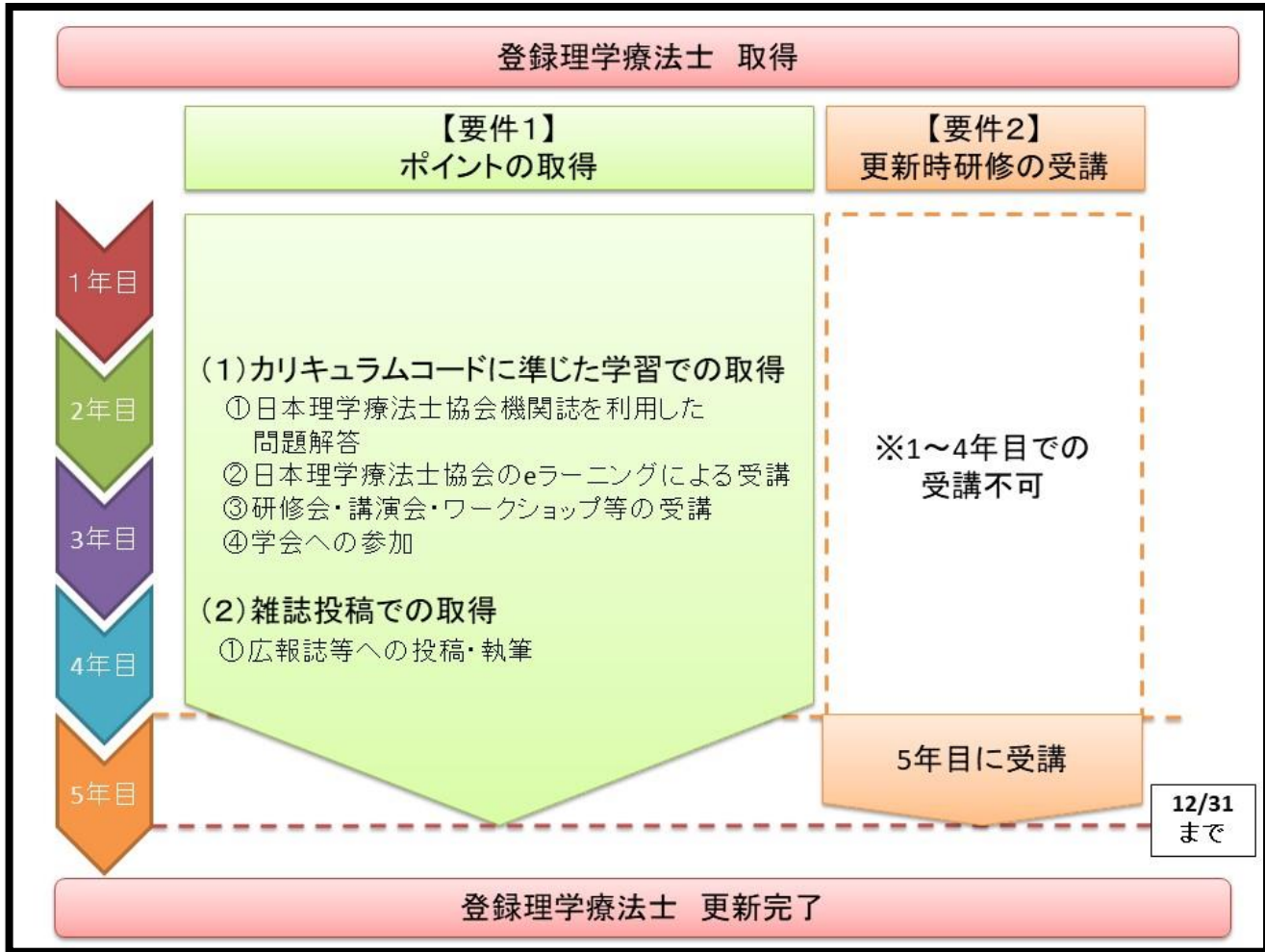
4. 更新の申請手続

- ・登録理学療法士更新のための活動対象期間内（登録理学療法士取得日～最終年度の12月末日まで）に更新要件をすべて満たすと、自動的に更新完了となります。
- ・更新のための申請手続は不要です。

【重要】※必ずご確認ください※

- ・履修付与対象者は「在会」のみです。「休会（復会申請中を含む）」「会員権利停止（未納）」など、セミナー等の会期当日に「在会」以外で受講された場合、履修付与対象外となりますので、ご注意ください。会期後に「在会」になった場合も、受講履歴は遡及されません。
- ・活動対象期間内にマイページに活動履歴が反映されている必要があります。
- ・活動を行っていても、マイページに反映されていない場合、要件は満たしていないことになります。
- ・活動対象期限には余裕をもってポイント取得を行ってください。
- ・マイページへのポイント登録作業は主催者が行いますが、反映までの時間は、主催者のポイント登録作業に係る時間によって異なります。活動対象期間内にマイページに反映されるかご不安な場合は、必ず事前に主催者にご確認いただくことを推奨します。
- ・更新のための活動対象期間内に必要数を超えるポイントを取得しても、次回以降の更新に繰り越して使用することはできません。
- ・活動対象期間外のポイントは使用できません。

5. 更新要件の概要



	更新：1～5回目	更新：6回目以降
要件1：ポイントの取得	50ポイント	10ポイント
要件2：更新時研修の受講	必須受講	任意受講 ※

※任意受講となりますが、基本的には受講を推奨します

6. 更新要件の詳細

- ・更新においては、要件1と要件2を両方満たす必要があります。

6.1 要件1：ポイントの取得

- ・ポイントの取得方法は大きく2つに分かれています。
- ・「(1) カリキュラムコードに準じた学習での取得」または「(2) 雑誌投稿での取得」の方法で必要ポイント数を取得してください。
- ・(1) (2) のポイント数の内訳に規定はありません。
- ・生涯学習制度上、登録理学療法士更新はポイント「●ポイント」、認定・専門理学療法士更新は点数「●点」と呼称し、区別しています。

6.1.1 (1) カリキュラムコードに準じた学習での取得

1. カリキュラムコードとは

- ・「日本理学療法士協会理学療法士教育モデル・コア・カリキュラム」等(2019年発行)に基づき、170のコードが設定されています。カリキュラムコードは理学療法士養成教育との連動性とジェネラリストとして学習する領域を表し、各研修会等のテーマに沿って設定されます。詳細は別紙のカリキュラムコード一覧をご確認ください。
- ・14区分について、170コードを分かりやすく分類したものであり、登録理学療法士更新において、区分内で●ポイント以上取得しなくてはならないという要件はありません。

2. ポイント数の加算・上書きに関する取扱い

- ・各カリキュラムコードで最初に取得したポイント(ポイント取得日が早い活動のポイント)のみが認定されますので、2回目以降に同一カリキュラムコードで異なるポイント数を取得しても、ポイント数を加算、高いポイント数への上書きはできません。
- ・更新のポイント数には加味されませんが、複数回の参加を制限するものではありません。

3. ポイント数の計算

- ・ポイントはカリキュラムコードごとに集計されます。
- ・最小単位は学習時間 30 分で 0.5 ポイントです。1 日の上限はありません。

4. ポイント取得方法

①日本理学療法士協会機関誌を利用した問題解答

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本理学療法士協会機関誌は2種類あります。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「JPTA NEWS」 ➢ 「日本理学療法士協会雑誌」 ・毎号、5問ずつ出題します。 ・解答期限が設定されていますのでご注意ください。 ・カリキュラムコードが1つ設定されます。 ・機関誌に QR コードが掲載されますので、「日本理学療法士協会メンバーアプリ」の QR コード読み取り機能で読み取って回答ができます。詳細は別紙「日本理学療法士協会機関誌を利用した問題解答」をご参照ください。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・毎号すべての問題に解答、正解することで1ポイント付与されます。 ・ポイント取得日は、全問正解し解答が修了した日です。 ・マイページへの反映は、全問正解し解答が修了した翌日です。

②日本理学療法士協会の e ラーニングによる受講

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本理学療法士協会が運用する e ラーニングを視聴することで、学習時間に応じたポイントが取得できます。 ・1コンテンツにつき1つカリキュラムコードが設定されます。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間 30 分で 0.5 ポイントです（コンテンツの学習時間により異なる）。 ・視聴後に確認テストがあり、全問正解で合格（＝修了）し、受講が完了します。視聴のみでは受講と認められません。 ・ポイント取得日は、確認テストに合格（修了）した日です。 ・マイページへの反映は、確認テストに合格（修了）した翌日です。

③研修会・講演会・ワークショップ等の受講

i) 協会・士会・ブロック協議会の主催のもの

概要	<ul style="list-style-type: none"> 協会、士会、ブロック協議会が主催する研修会等に参加することで、学習時間に応じたポイントが取得できます。 ポイント数やカリキュラムコードは予め主催者にて定められます。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間は30分で0.5ポイントです（対象活動の学習時間により異なる）。 ポイント取得日は、開催日です。 マイページへの反映は、主催者やセミナー受講確認方法等によって要する時間が異なります。主催者へ直接お問い合わせください。

ii) 士会が承認した会員所属施設の主催のもの

概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録理学療法士が所属する都道府県理学療法士会へ事前申請（学習内容に応じてカリキュラムコードは自由選択可）して、承認を得ることで、主催する研修会等の学習にてポイントが取得できます。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間は30分で0.5ポイントです（対象活動の学習時間により異なる）。 ポイント取得日は、開催日です。（2023年10月2日以降に履修登録を実施したセミナーより、申請者の履修登録日基準から開催日基準へ変更） マイページへの反映は、申請者が履修登録を行った日です。マイページへ反映されていない場合は、申請者へ直接お問い合わせください。

④学会への参加

概要	<ul style="list-style-type: none"> 士会、ブロック協議会（北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック）、日本理学療法学会連合の会員団体（参照➡https://www.jspt.or.jp/）が主催する学会に参加することで、学習時間に応じたポイントが取得できます。 1学会ごとに1つカリキュラムコードが設定されます。なお、士会、ブロック協議会が主催する学会においては、学会内で個別に開催するプログラムに対して、別途カリキュラムコードが設定される場合があります。 発表者も参加に含まれます。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学会開始時刻から終了時刻までの時間数を学習時間とします。 ポイント取得日は、開催日です。 マイページへの反映は、主催者や学会参加確認方法等によって要する時間が異なります。主催者へ直接お問い合わせください。

6.1.2 (2) 雑誌投稿での取得

① 広報誌等への投稿・執筆

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本理学療法士協会および士会が発行する広報誌等（学術雑誌を除く）への投稿や執筆でポイントが取得できます。 ・ 本要件はカリキュラムコードに準じた学習ではありませんので、カリキュラムコードは設定されません。 ・ 活動対象期間中の発行物が対象です。 ・ 具体的に対象物やその範囲は、予め定められます。 ※士会：士会が対象と認める発行物 ※協会：協会が対象と認める発行物（JPTANEWS）
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回につき1ポイントとします。 ・ 更新に利用できるポイントは、1年あたり上限5ポイントです。 ・ ポイント取得日は、発行日です。 ・ マイページへの反映は、発行者によって要する時間が異なります。発行元へ直接お問い合わせください。

6.2 要件 2 : 更新時研修の受講

6.2.1 要件概要

- ・本研修は、更新時の必須研修です。日本理学療法士協会の重点課題に基づいた内容が設定されており、最新の知見や動向等に関する研修を受講します。
- ・取得期間の最終年度（登録理学療法士取得5年目）のみに受講可能です。
- ・受講方法を問わず、最終年度以前（登録理学療法士取得1～4年目まで）に更新時研修を申込および受講することはできません。
- ・2022年の新生涯学習制度開始後、本研修の初回開催は2026年です。

6.2.2 受講方法

- ・詳細は検討中です。

6.2.3 受講費

受講費：2,000円（税抜）【予定】

7. 更新要件取得状況の確認

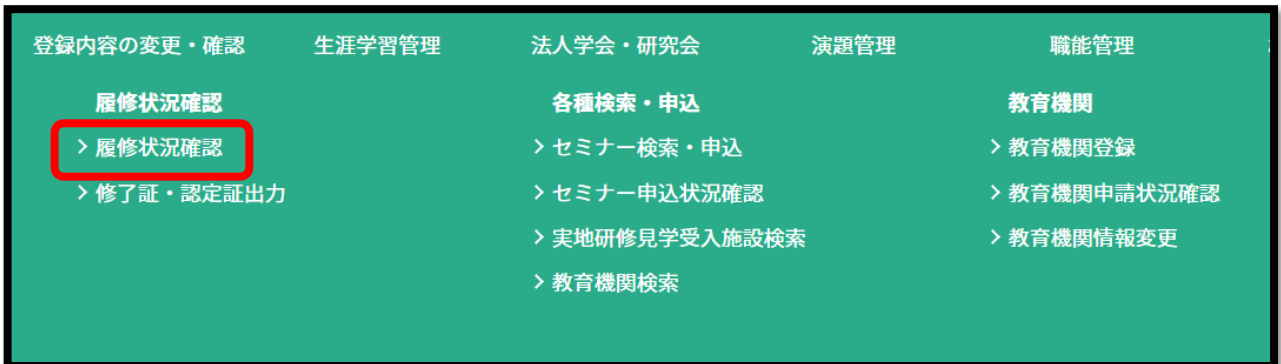
- ・「ポイントの取得」および「更新時研修の受講」状況はマイページから確認できます。

マイページでの確認方法

- (1) マイページトップ画面から「生涯学習管理」を押下します。



- (2) 「履修状況確認」を押下します。



(3) 「登録理学療法士（更新）」のタブを押下します。

履修状況確認

履修状況

氏名	
会員番号	
所属士会	

発表履歴一覧

前期研修	後期研修	登録理学療法士（更新）	認定理学療法士（新規）	専門理学療法士（新規）	認定理学療法士（更新）	専門理学療法士（更新）
履修状況	修了					履修状況確認
履修完了日	2022年04月01日					

(4) 履修状況に「取得ポイント数、更新時研修の受講有無」が表示されますが、詳細は「履修状況確認」を押下します。

前期研修	後期研修	登録理学療法士（更新）	認定理学療法士（新規）	専門理学療法士（新規）	認定理学療法士（更新）	専門理学療法士（更新）
------	------	--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

次回更新予定日までに、ポイントの取得と更新時研修の履修をしてください。

履修状況	取得日	2022年04月01日	履修状況確認
	有効期限	2027年03月31日	
	更新のためのポイント取得期限	2026年12月31日	
	取得ポイント数	2 / 50 ポイント	
	更新時研修	-	
	更新回数	0回	
更新期間延長状況	申請状況	-	
	延長回数	0回	

(5) 取得したポイントの内訳が確認できます。

登録理学療法士履修状況

次回更新予定日	2027年03月31日		
更新期間延長状況	申請状況	-	延長申請を行う
	延長回数	0回	

カリキュラムコード
ポイント取得数：2ポイント

「カリキュラムコードに準じた学習」によって取得したポイント数が表示されます。

区分	カリキュラムコード	取得ポイント数	
1	1～19	1ポイント	詳細
2	20～31	0ポイント	詳細
3	32～48	0ポイント	詳細
4	49～56	0ポイント	詳細
5	57～73	0ポイント	詳細
12	130～149	0ポイント	詳細
13	150～160	0ポイント	詳細
14	161～170	0ポイント	詳細

雑誌投稿
ポイント取得数：0ポイント

「雑誌投稿」によって取得したポイント数が表示されます。

取得年度	取得ポイント数

[戻る](#)

(6) カリキュラムコードごとの詳細を確認する場合は、「詳細」を押下してください。

カリキュラムコード
ポイント取得数：2ポイント

区分	カリキュラムコード	取得ポイント数	
1	1～19	1ポイント	詳細
2	20～31	0ポイント	詳細

「履修履歴」を押下すると、さらに詳細な履歴が確認できます。

11	医療と介護および福祉の連携	0ポイント	-	セミナー検索	履修履歴
12	障害者総合支援法と理学療法	0ポイント	-	セミナー検索	履修履歴
13	国際支援における理学療法	0ポイント	-	セミナー検索	履修履歴
14	医療制度と法律	1ポイント	2022年10月18日	セミナー検索	履修履歴
15	理学療法士及び作業療法士法	0ポイント	-	セミナー検索	履修履歴
16	医療法ならびに関連職種の資格法	0ポイント	-	セミナー検索	履修履歴

登録理学療法士履修状況 履修履歴

カリキュラムコード

区分：1

カリキュラムコード：医療制度と法律

ポイント取得数：1ポイント

セミナーID	セミナー名	講義名	ポイント数	取得日	
			1ポイント	2022年10月18日	詳細 eラーニング

8. カリキュラムコード別のセミナー検索方法

- (1) 「7. 更新要件取得状況の確認」に示したマイページでの確認手順に則り、「登録理学療法士履修状況」画面を確認します。取得したいカリキュラムコードの区分欄の「詳細」を押下します。

登録理学療法士履修状況

次回更新予定日	2027年03月31日		
更新期間延長状況	申請状況	-	延長申請を行う
	延長回数	0回	

カリキュラムコード
ポイント取得数：2ポイント

区分	カリキュラムコード	取得ポイント数	
1	1～19	1ポイント	詳細
2	20～31	0ポイント	詳細
3	32～48	0ポイント	詳細
4	49～56	0ポイント	詳細

- (2) 各カリキュラムコード欄の「セミナー検索」を押下します。

区分：3
ポイント取得数：0ポイント

コード番号	カリキュラムコード	取得ポイント数	取得日	
32	医療倫理：医療倫理と臨床倫理	0ポイント	-	セミナー検索 履修履歴
33	医療倫理：研究倫理と生命倫理	0ポイント	-	セミナー検索 履修履歴
34	治療者・患者関係とコミュニケーション	0ポイント	-	セミナー検索 履修履歴
35	医療面接	0ポイント	-	セミナー検索 履修履歴

9. 更新料

無料（※更新に費用はかかりません）

10. 更新期間延長手続き

【条件】

- ・申請時において以下の要件を満たしていること。
- ・1回の更新につき、延長は最大2年（2度まで）とする。

※1度にまとめて2年分の延長手続きは不可

【要件】※「休会」は要件に該当しません

以下に該当するやむを得ない延長理由が生じていた者。

- ①6ヵ月以上のケガ・病気による休職等
- ②出産・6歳以下の子の育児による休職等
- ③親族（2親等以内）の介護による休職等
- ④1年以上の海外留学等

【申請方法】

- ・更新期間延長手続きは、有効期間の最終年度（登録理学療法士取得5年目）の指定申請期間に受け付けます。いかなる事由においても期間外の申請は認められません。
- ・必要書類（申請書や延長理由を証明する書類等）の添付が必要です。
※詳細な手続き方法や期間は現時点で未定（決定次第ご案内します）

11. 認定証の発行

- ・ 必要要件を満たすことにより、登録理学療法士を更新することができます。
- ・ 新たな認定期間が明記された「認定証」を発行します。
- ・ 「認定証」はマイページからダウンロード形式での発行となり、郵送は行いません。

12. 更新未完了者への措置

- ・ 指定期限までに更新要件を満たさなかった場合、猶予措置を設け、下記を条件に更新を認めます。
- ・ 登録理学療法士取得から6年目の年度中（猶予措置期間中）も登録理学療法士の権利は維持されますが、更新にあたっては条件が追加されます。
- ・ 指定期間までに要件をすべて満たした場合、新たな更新認定日は翌年度4月1日からとします。
- ・ 更新要件（追加要件も含む）を満たさなかった場合、登録理学療法士を失効し、前期研修からの履修となります。

【条件】

- ・ 6年目の指定期間内（当該年度の12月末日まで）に更新要件および下記追加要件のすべてを満たすこと。

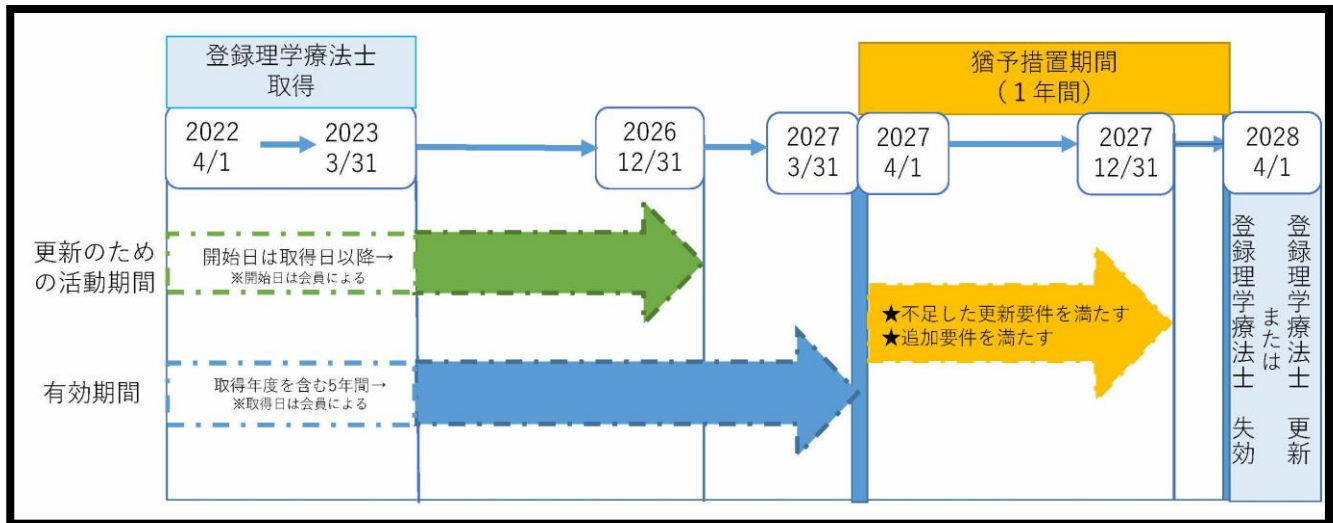
【追加要件】※両方を満たす必要があります

- (1) 日本理学療法学会研修大会への参加
- (2) ブロックでの学会大会・学会集会参加もしくは都道府県理学療法士学会・学会集会参加

※所属士会に関わらずどのブロック・士会への参加でもよい

【スケジュール例】

※2022年度内（2022/4/1～2023/3/31）に登録理学療法士を取得した場合



カリキュラムコード一覧

2021年12月24日更新

※14区分について、170コードを分かりやすく分類したものであり、登録理学療法士更新において、区分内で●ポイント以上取得しなくてはならないという要件はありません

区分：1	区分：3	区分：5	区分：7	区分：9	区分：11	区分：13
1 プロフェッショナルリズム	32 医療倫理：医療倫理と臨床倫理	57 機能と構造、身体機能の低下	84 骨関節障害	107 糖尿病、脂質異常	127 フレイル	150 予防と保健
2 リハビリテーション医学・医療	33 医療倫理：研究倫理と生命倫理	58 機能障害	85 関節可動域障害	108 栄養・代謝障害	128 廃用症候群	151 健康概念と健康寿命
3 理学療法概論	34 治療者-患者関係とコミュニケーション	59 活動	86 切断	109 内分泌・代謝疾患	129 老年症候群	152 健康維持・健康増進における理学療法
4 個別指導・集団指導	35 医療面接	60 社会参加	87 骨粗鬆症	110 代謝疾患の理学療法	130 ロコモティブシンドローム	153 介護予防における理学療法
5 患者・対象者（家族を含む）教育	36 臨床心理学、心理社会的アプローチ	61 個人因子と環境因子	88 運動器疾患の理学療法	111 消化器疾患	131 慢性疾患・複合疾患の管理	154 地域保健
6 地域包括ケアシステム	37 臨床問題解決のプロセス	62 運動麻痺	89 徒手理学療法	112 腎・泌尿器疾患	132 認知能の障害	155 産業理学療法における理学療法
7 地域リハビリテーション	38 理学療法評価	63 筋緊張異常	90 スポーツ分野における理学療法	113 生殖器疾患	133 認知症・MCIの理学療法	156 メンタルヘルス
8 医療保険サービスと理学療法	39 画像評価	64 歩行・歩行障害	91 障がい者スポーツ分野における理学療法	114 血液疾患、自己免疫疾患	134 気分の障害（うつ）・不安	157 各ライフステージの人間理解
9 介護保険サービスと理学療法	40 生理機能検査と解釈	65 平衡機能障害	92 疼痛：急性痛	115 腫瘍	135 精神疾患に対する理学療法	158 臨床実習と教育
10 保険外・自費と理学療法	41 問題点抽出と目標設定	66 協調運動	93 疼痛：慢性痛	116 がんのリハビリテーション		159 スタッフ教育と教育システム
11 医療と介護および福祉の連携	42 ADL・IADL	67 筋力低下	94 疼痛：関節痛	117 リンパ浮腫		160 コーチング・ファシリテーション
12 障害者総合支援法と理学療法	43 臨床推論	68 意識障害、けいれん発作	95 疼痛：神経因性疼痛（中枢性・末梢性）			
13 国際支援における理学療法	44 治療プログラム立案	69 視力障害、視野狭窄、視覚障害	96 疼痛に対する理学療法			
14 医療制度と法律	45 エビデンス（根拠）に基づく理学療法	70 聴覚障害	97 疼痛管理			
15 理学療法士及び作業療法士法	46 予後予測	71 感覚障害				
16 医療法ならびに関連職種の資格法	47 統計学	72 四肢のしびれ				
17 個人情報保護法	48 研究法	73 頭痛・めまい				
18 コンプライアンス（法令遵守）						
19 理学療法政策						
区分：2	区分：4	区分：6	区分：8	区分：10	区分：12	区分：14
20 医療マネジメント	49 理学療法の基礎領域	74 中枢神経疾患	98 呼吸障害	118 胎生期における発達過程	136 咀嚼・摂食・嚥下	161 急性期の理学療法
21 医療情報（記録・保存）	50 基本的な理学療法治療技術	75 高次脳機能	99 呼吸器疾患	119 乳・幼児期における発達過程	137 咀嚼摂食嚥下の理学療法	162 周術期の理学療法
22 チーム医療・多職種連携	51 活動体としての人間理解：関節運動	76 失語症	100 呼吸理学療法	120 小児期における発達過程	138 言語障害、嗄声	163 回復期の理学療法
23 理学療法管理・学	52 活動体としての人間理解：基本動作	77 中枢神経疾患の理学療法	101 循環障害	121 小児の疾患	139 構音障害の理学療法	164 生活期の理学療法
24 信頼関係の構築と協働作業の実践	53 活動体としての人間理解：活動（運動）のメカニズム	78 高次脳機能障害の理学療法	102 運動耐容能	122 小児・発達障害の理学療法	140 リハビリテーション栄養	165 地域医療と理学療法
25 病院施設におけるBCP	54 神経・筋機能制御	79 脳血管障害後遺症	103 高血圧症	123 学校保健および特別支援教育における理学療法	141 耳鼻科領域の理学療法	166 在宅医療と理学療法
26 救急救命	55 薬理、薬物による人間の反応	80 脊髄損傷の理学療法	104 胸痛・動悸	124 周産期の理学療法	142 再生医療と理学療法	167 終末期の理学療法
27 医療安全・安全管理	56 褥瘡・創傷ケア	81 パーキンソン病関連疾患の理学療法	105 循環器疾患の理学療法	125 コンチネンス領域の理学療法	143 ICT・AIと理学療法	168 緩和ケア
28 感染対策		82 末梢神経障害	106 心臓リハビリテーション	126 ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法	144 ロボットと理学療法	169 訪問理学療法
29 感染と理学療法		83 神経筋疾患の理学療法			145 住環境	170 通所理学療法
30 災害医療					146 支援工学	
31 災害時の理学療法					147 義肢	
					148 装具	
					149 福祉用具	